



ABCレポート

A Be Connection ～あべと皆様を結ぶレポートです～

あべ俊昭 県政報告 2025年夏号 No.55

発行者／千葉県議会議員 阿部俊昭



原点 ～現場第一主義～を忘れずに この夏も走ります!

定例県議会代表質問に立つ! 6月4日 10:00～

- | | | |
|-----------------------|-------------------------|------------------------|
| ① 知事の政治姿勢について | ⑦ 千葉県美術館修学資金制度の創設について | ⑩ 皆で支えあう千葉県民の風土づくりについて |
| ② 千葉県の特区制度の現状と見通しについて | ⑧ バリアフリー・ユニバーサルデザインについて | ⑪ 千葉の未来を創る「人」の育成について |
| ③ かすさアカデミアパークについて | ⑨ 孤立集落対策について | ⑫ 交通安全対策について |
| ④ 経済の活性化について | ⑩ 共生社会づくりについて | ⑬ 地域防災対策について |
| ⑤ 道路施設事故防止について | ⑪ 県における施設対応について | ⑭ その他 |
| ⑥ 社会資本の充実とまちづくりについて | ⑫ 県立農業大学校について | |

Q16

物価高騰対策

重点支援地方交付金 約112億3870万円

国が、地方公共団体が地域の実情に応じてきめ細やかに必要な事業を実施できるようにして重点支援地方交付金を示したことは高く評価されています。県知事を中心に、県職員・議会での議論の見せ所です。県内の消費を喚起するキャッシュレス決済によるポイント還元キャンペーンの実施をわが党から強く要望していたところです。県民からも早く実施してほしい、いつなんだとの声が届いて過去の実績と経験値も生かしながら、速やかな準備と執行を期待します。

消費喚起対策事業の実施内容はどうか。
また事業の効果の検証をどのように進めるか。

知事
答弁

県内消費を喚起し事業者の収益を増加させることで千葉県経済全体の底上げを図る。夏休み中に8/1から2週間程度実施したい。
5つのキャッシュレス決済を参加店舗で利用すると支払金額の最大10%・各決済当たり3000円相当のポイントとして還元されます。
県内経済への波及効果もPDCAサイクルに基づき検証する。



プロパンガス世帯も支援

燃料代はじめ電気・都市ガス代 について国からの支援が入っている中で「プロパンガス世帯への支援はないのでしょうか?」との
柏市や他市の女性からの
切実な声があり、
県につなげてきました。



3回目は、1世帯等あたり1,300円
事業者には、67,500+20×α の協力金

NEWS FLASH

速報 補正予算が可決されました



国は「米国関税措置を受けた緊急対応パッケージ」の一環として、予備費を活用して、電気ガス料金等の支援と重点支援地方交付金の配分を行い、千葉県には19億8000万の6月補正予算が組まれ可決されました。

中小企業成長促進補助金10億円、特別高圧電気料金高騰対策事業 2億8000万円、LPガス料金負担軽減支援事業として1世帯等あたり600円給付されることになりました。

Q13 皆で支えあう千葉県民の風土づくりについて

県民が地域のボランティア活動に参加することで地域内のコミュニケーションが活性化し、顔の見える関係性が築かれます。災害時の助け合いや高齢者の見守りといった日常の安全・安心にもつながります。総務省が行った令和3年社会生活基本調査で千葉県はボランティア活動行動者率は14.9%と青森大阪につぐ全国ワースト3位。(略)

① ボランティア活動への参加を促進することは、どのような意義があると考えているのか

答弁 地域の現状に関心を持ち、自発的な社会貢献活動をするボランティアの役割がますます重要となっている。ボランティア活動することで互いに支え合い、共に課題を解決していく地域社会の実現につながるものと考えている。

② 成果と課題、若者や働き世代への普及状況はどうか

答弁 登録者数2600名・登録団体170団体急激に増加、このサイトでマッチングし参加した方は延べ2000名以上となった。10代20代が約5割、30代40代は1割。多くの世代に参加してもらえるように「ちばボランティアナビ」の情報の充実や周知に取り組む。



Q6 社会資本の充実とまちづくりについて

都市軸道路利根川橋梁の早期事業化に向けて、1月に齋藤健代議員、平木大作参議院議員はじめ熊谷知事、大井川茨城県知事、太田柏市長、井崎流山市長と県議ほか関係者が、中野国交大臣に都市軸道路利根川橋の新規事業化に関する要望書を提出いたしました事が大きな前進を果たしました。この都市軸道路利根川橋が国の補助事業として新規事業化され、利根川を渡る道路の整備が進むことで千葉県と茨城県とが一体となる経済圏が確立され、人口の増加や企業の立地が進む都市軸道路沿道地域のさらなる発展に大きく貢献するものと考えております。そこで、伺います。



① 都市軸道路利根川橋について今後の見通しはどうか

答弁 今年度から新規事業として国に採択されたところ。約3kmの長大橋であり鉄道とに近接することから、工事着手にあたり技術的課題を的確に把握するために、両県で現地調査や関係者調整を重点的に行っていく。事業が着実に進むように茨城県と連携しながら、積極的にとりくむ。



② 千葉北西連絡道路はどうか

答弁 交通円滑化や県内外の交流・連携を強化し産業の活性化、災害時の代替性を確保する重要な道路である。地元の意見把握を行うオープンハウスの開催や企業等へのアンケート実施中。計画の早期具体化に向けて国に積極的に働きかけ、整備を加速していく。

③ つくばエクスプレス東京駅延伸はどうか

答弁 都心部とのアクセス利便性向上や北西部の発展につながる事業。都心での事業が計画が技術面やコスト面などの課題がある。



要望 「(略称)TXと地下鉄の接続事業化促進期成同盟会」に千葉県が参加することも大きな力になる

「千葉の未来を創る『人』の育成」を標榜し、前進する教育委員会の皆様が、事を成就するには苦難・障害はつきものですが、こどもの幸せのためにチーム県教委として汗をかき、乗り越えてほしい。その汗の分、現場では感動的な教育実践・体験が生まれていきます。教育現場の課題解決と教育の質の向上を目的としており、今後の成果が期待されています。そこで教育長に伺います。



①本県の教育振興に向けて、どのように取り組んでいくのか

- 答 弁**
- 【1】 デジタル化の進展や少子化の進行など、社会環境が大きく変化する中で、子供たち一人一人の豊かな人生と持続可能な地域社会の実現に向けて、教育の果たす役割は極めて重要である。
- 【2】 このため、不登校など多様な教育ニーズに応える教育環境や、教員の働きがいと働きやすさを両立させる**職場環境の整備など教育の土台づくりを進める**とともに、質の高い学びにより、未来を切り拓く「人」の育成を進めていくことが必要と考えている。
- 【3】 具体的には、福祉と学校の連携等により、困難を抱えた子供が安心して学べる環境を作っていくことや、優れた教員の採用・育成・働き方改革を進めるとともに、県立学校の施設・設備の整備や、職業系専門学科の魅力向上などに様々な関係者と一丸となってチームとして取り組んでいく。

地域の少子化や進学率の変化、教育ニーズの多様化に対応した高校改革が求められます。県立高校の教育の質や魅力を高めていく取り組みの一つとして、県立高校が地域の息づかいを感じながら 利他・他者に尽くす社会貢献の人材育成をめざす県立高校の強化・充実、魅力向上を願い、いくつかの質問をさせていただきます。

②キャリア教育の充実のためにどのように取り組んでいるのか

- 答 弁** 高校生が自己理解を深め、職業意識の醸成を図るため、キャリアプランニングの考え方を学ぶ授業のほか、県内のものづくり企業や起業家などの講演会を実施。今年度はキャリア教育推進室を新設。

③職業系専門学科の活性化に向けた取組はどうか

- 答 弁** 第2次実施プログラム案において、地域産業の人材育成を担う職業系専門学科の更なる魅力化を図るため、今後の方向性や新たな取組を示したところで。具体的には、工業系高校において、学校と地元企業が連携して、ものづくりの担い手を育成するデュアルシステムを取り入れるほか、2校で学科の再構成を図ることとしました。また、水産系高校3校についてそれぞれの地域の特性を踏まえた学びの特色化を図るとともに、遠隔地からの生徒受入体制の検討も進める。



要 望

高校生のもつ、他者に尽くす、また、人に地域に役立つ体験が生きる力になっていくのではないかと。ちばボランティアナビと教育をつなげることで新たな展開を期待できると思うので、ぜひ進めていただきたい。

自転車の交通違反への青切符導入前に、自転車安全利用に関する広報啓発をどのように取り組んでいくのか

- 答 弁** 県警では、来年4月1日の施行が予定されている交通反則通告制度、いわゆる青切符の導入に向けて、関係機関・団体等と連携し、自転車の交通规则の周知に向けた広報啓発活動や交通安全教育に取り組んでいる。特に、中学生・高校生に対しては、学校とも連携し、16歳以上は青切符の対象となることの周知も含めて交通安全教育を推進する。

		
「ながら運転」 1万2,000円	信号無視 6,000円	道路幅切立ち入り 7,000円
		
逆走・歩道を通行 6,000円	一時不停止 5,000円	

あべズバツ! あべ提案の事業が大前進

ちば障害者等用駐車区画利用制度

47,578件 利用証発行 パーキングパーミット制度

あべが「障がい者社会参画支援機構」の方と千葉県の障害者等用駐車場の実態調査をしたところ8割が健全者（利用台数1528台のうち「適正利用」と確認されたのは約18.3%の279台）

一般紙一面で取り上げられ、解決へ「利用証の発行」を訴えて実現しました。

更なる周知へ商業施設での放送やスペースの整備を訴えています。

多胎妊娠婦のご家族の要望を受けて、利用期間を3年間に延長へ!



不登校児童生徒の教育機会確保事業

メタバースを活用した 不登校児童生徒支援事業



メタバースを活用して

不登校児童生徒同士や相談員等が交流する場を設け、児童生徒を相談・支援につなげます。

・令和7年9月1日～令和8年3月31日

・週2回 15:00～17:00予定

☆メタバースでの児童生徒の相談支援実践の県庁初の勉強会をあべが企画できたことも後押しとなりました。

視覚障がい者・高齢者向け

耳で聴くハザードマップの導入

音声で防災情報が得られる「ユニボイスブラインド」というアプリを利用します。

スマホのGPSを活用し、現在地の洪水や土砂災害、高潮。

津波といった災害リスク情報のほか、周辺(5km以内)にある避難場所までの経路を音声で読み上げます。

☆視覚障害福祉協会の評議員として視覚障がい者の

方々の声を知事に要望をしてきました。



県立柏の葉公園の活性化へ

飲食施設利用者は 10万人突破へ

公園の魅力向上と利活用を促進するためのパークPFIの活用の先行として、年間利用者150万人の柏の葉公園への民間活力の導入を訴えてきたのがあべです。



都市公園法が改正された直後に、県立柏の葉公園に民間の力を使っでの活性化を提案。6年越しで8回の議会・委員会質問も重ねながら推進し、千葉県第1号として飲食施設(カフェとバーベキュー場)がオープンしました。ドトール様にとって全国初のパークカフェです。ドッグスペースもあり、連日大好評です。

昨年、柏市民新聞(9/13付)や公明新聞(10/2付)にも掲載されました。



☆第2弾として公園内・運動健康ゾーンに近代型スポーツ施設を検討しています!

※かつては陸軍の飛行場があった地域ですが今、戦後米軍に接収されたものの先輩方(柏をよくする会)が柏通信所の早期返還と跡地利用についての署名運動を展開し、57260筆(当時柏市約20万人)をもって防衛施設庁に陳情。昭和54年8月14日全面返還が実現しました。

官民で公園の魅力向上
飲食施設やバーベキュー場整備
「公園の活性化」を訴えてきたあべが、今年度、県立柏の葉公園に民間の力を使っでの活性化を提案。6年越しで8回の議会・委員会質問も重ねながら推進し、千葉県第1号として飲食施設(カフェとバーベキュー場)がオープンしました。ドトール様にとって全国初のパークカフェです。ドッグスペースもあり、連日大好評です。昨年、柏市民新聞(9/13付)や公明新聞(10/2付)にも掲載されました。☆第2弾として公園内・運動健康ゾーンに近代型スポーツ施設を検討しています!



「公園の活性化」を訴えてきたあべが、今年度、県立柏の葉公園に民間の力を使っでの活性化を提案。6年越しで8回の議会・委員会質問も重ねながら推進し、千葉県第1号として飲食施設(カフェとバーベキュー場)がオープンしました。ドトール様にとって全国初のパークカフェです。ドッグスペースもあり、連日大好評です。昨年、柏市民新聞(9/13付)や公明新聞(10/2付)にも掲載されました。☆第2弾として公園内・運動健康ゾーンに近代型スポーツ施設を検討しています!



ご要望・ご相談はお気軽に あべ まで ☎080-6557-3295

1959年 宮城県石巻市渡波出身
千葉県内の小学校教員24年7ヶ月勤務
2023年 4月の統一選で5期目の当選

〒277-0861 柏市高田1075-53
FAX 04-7108-3633
✉ abedasu7@gmail.com

被災地に最も足を運んだ県議会議員。風化と風評と闘い、継続的な支援を行っています。

- 文教常任委員会委員 ●地震津波対策議員連盟・副会長 ●手賀沼水環境保全協議会顧問 ●資源エネルギー問題懇話会委員
- 日中友好千葉県議員連盟副会長 ●千葉県議会芸術文化振興議員連盟 ●千葉県議会動物愛護議員連盟
- 不登校児童生徒の教育機会確保・支援推進議員連盟など ★柏ソフトテニスシニア連盟顧問

